

財務モデリングのプロセス

49 BIツールの特徴として、適切でないものはどれか。

- a) ユーザーインターフェースがわかりやすい
- b) エラーが発生するリスクが小さい
- c) 複数のユーザーが送信したデータを統合しやすい
- d) スプレッドシートの機能を完全にBIで置き換えることができる

50 BIツールを導入するメリットとして、適切でないものはどれか。

- a) セットアップや管理が容易である
- b) 可視化による現状把握が簡単にできる
- c) レポートの作成時間が短縮できる
- d) 動的なドリルダウン、ドリルアップが可能である

16 ツールの活用 16.1 BIツール 正解：d

BIツールにより、動的なグラフやマップの作成、活用が可能になったことにより、Excel等のスプレッドシートが不要になるという期待があるが、BIツールを利用するために接続するデータを整備する段階で、スプレッドシートを活用することは不可欠である。

したがって、正解は (d) となる。

16 ツールの活用 16.1 BIツール 正解：a

BIツールは膨大なデータを可視化して、動的なドリルダウン、ドリルアップが可能であり、これらを通じて現状を把握することを助ける。また、表計算アプリケーションよりも見やすいグラフやマップを含むレポートを短時間で作成することができる。一方で、BIツールをセットアップしたり管理したりするには煩雑な作業が必要になるため、一定以上のスキルが要求される。

したがって、正解は (a) となる。